

ふき 吹田の郷

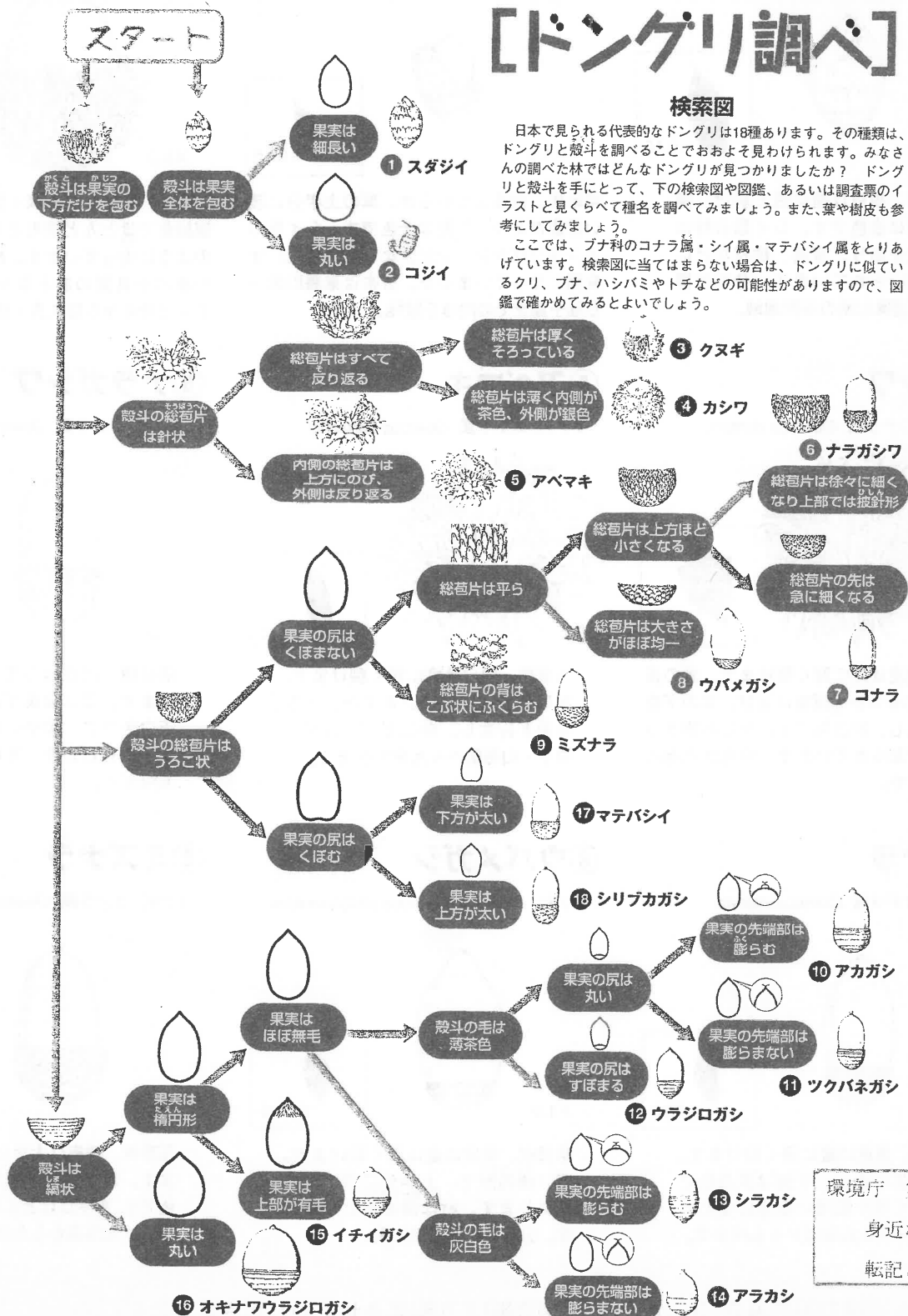
発行/すいた市民環境会議 代表/小田忠文 年会費/個人会員1000円、法人会員10,000円 振込先/00980-3-28845 すいた市民環境会議
 事務局/〒564-0032大阪府吹田市内本町2丁目18-8 TEL & FAX 06-6319-0630 小田(午後6時以降) 編集長/古谷啓伸
 ホームページ <http://www.alpha-net.ne.jp/users2/kusahiro/suika.htm>

[ドングリ調べ]

検索図

日本で見られる代表的なドングリは18種あります。その種類は、ドングリと殻斗を調べることでおおよそ見分けられます。みなさんの調べた林ではどんなドングリが見つかりましたか？ ドングリと殻斗を手にとって、下の検索図や図鑑、あるいは調査票のイラストと見くらべて種名を調べてみましょう。また、葉や樹皮も参考にしてみましょう。

ここでは、ブナ科のコナラ属・シイ属・マテバシ属をとりあげています。検索図に当てはまらない場合は、ドングリに似ているクリ、ブナ、ハンバミやトチなどの可能性がありますので、図鑑で確かめてみるとよいでしょう。



環境庁 第6回緑の国勢調査
 身近な林(秋冬調査編)より
 転記させていただきました

ドングリ 図鑑

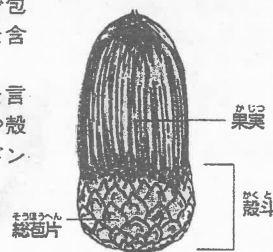
ドングリとは



ドングリとは、クヌギやコナラのように下方がおわん状または皿状の殻斗で包まれた丸く固い果実の総称で、殻斗を含んで言うこともあります。

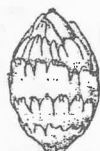
普通はブナ科コナラ属に属す果実を言いますが、ここでは、マテバシイ属や殻斗が果実全体を包むシイ属の果実もドングリとします。

●ドングリの部位名

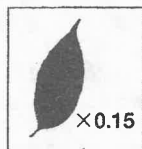


①スダジイ

ブナ科 シイ属 *Castanopsis sieboldii*



×1.0



×0.15

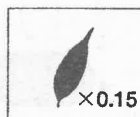
常緑樹。樹皮は縦に浅く裂け、葉の下面は金色です。シイ類の材は耐久性があり、家具、建材などに広く用いられています。分布は福島・新潟県以南の沿岸地域。

②コジイ

ブナ科 シイ属 *Castanopsis cuspidata*



×1.0

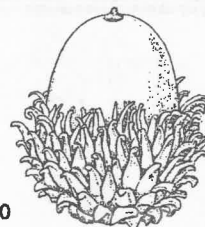


×0.15

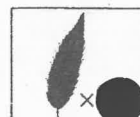
常緑樹。樹皮はなめらか。葉の上半分に浅い鋸歯があり、下面は金色です。シイ類のドングリはタンニンが少なく縄文時代には食用となっていました。分布は東海以西から種子島までの内陸丘陵地。

③クヌギ

ブナ科 コナラ属 *Quercus acutissima*



×1.0

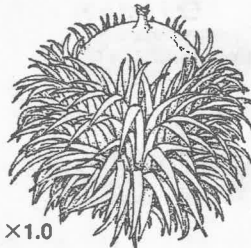


×0.15

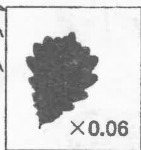
落葉樹。樹皮は縦に深く裂け、葉の下面は淡緑色でほとんど無毛です。鋸歯の先は針のように尖っています。材はシイタケ栽培の原木や良質の炭となります。分布は岩手・山形県から屋久島・種子島まで。

④カシワ

ブナ科 コナラ属 *Quercus dentata*



×1.0

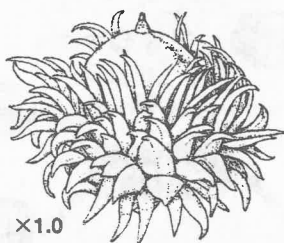


×0.06

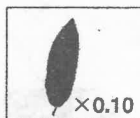
落葉樹。樹皮は縦に深く裂けます。葉の長さは10~30センチで鋸歯は波状。葉の下面は毛が密生し、灰白色です。かしわ餅をつつむことで知られています。分布は北海道から九州まで。

⑤アベマキ

ブナ科 コナラ属 *Quercus variabilis*



×1.0

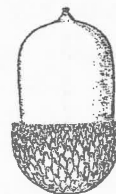


×0.10

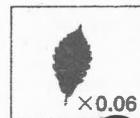
落葉樹。樹皮は縦に深く裂けます。葉はクヌギに似ていますが、下面は毛が密生し、白色です。分布は岩手・山形県から九州中部まで。

⑥ナラガシワ

ブナ科 コナラ属 *Quercus aliena*



×1.0



×0.06

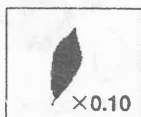
落葉樹。樹皮はふぞろいに深く裂けます。葉は鋸歯があり、下面は灰白色です。葉柄は長さ1~3センチ。分布は岩手・秋田県以南から九州まで。

⑦コナラ

ブナ科 コナラ属 *Quercus serrata*



×1.0



×0.10

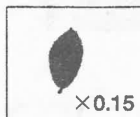
落葉樹。樹皮は縦に深く裂けます。葉は鋸歯があり、下面は灰白色です。シイタケ栽培の原木に使われます。分布は北海道から九州まで。

⑧ウバメガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus phillyraeoides*



×1.0



×0.15

常緑樹。樹皮は縦に浅く裂けます。葉は楕円形で、上半分に浅い鋸歯があります。材は備長炭となります。分布は関東南部以南。

⑨ミズナラ

ブナ科 コナラ属 *Quercus crispula*



×1.0



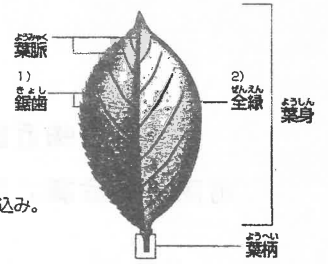
×0.06

落葉樹。樹皮は大きな割れ目ができます。葉は鋸歯があり、下面は淡緑色です。葉柄はほとんどありません。分布は北海道から九州まで。

用語解説

広葉樹／コナラ・ケヤキのように幅の広い葉を持った樹木。
 針葉樹／マツ・スギのように針状、またはうろこ状の葉を持った樹木。
 常緑樹／1年中緑の葉をつけている樹木。クロマツのような針葉樹と、クスノキのような広葉樹がある。
 落葉樹／冬には葉を落とす樹木。コナラのような広葉樹が多く、針葉樹ではカラマツやメタセコイアなどがある。

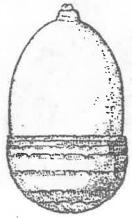
●葉の名称



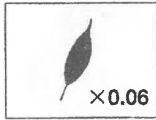
- 1) 鋸歯／葉の縁にあるギザギザの切れ込み。
- 2) 全縁／鋸歯がない葉の縁の形。

⑩ アカガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus acuta*



×1.0

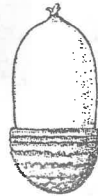


×0.06

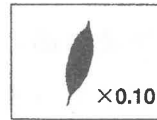
常緑樹。樹皮はなめらかですが、大きくなると不規則にはがれます。葉は長さ8～15センチで全縁。葉の下面は緑色、葉柄は長さ2～4センチで、葉の先は長く尖ります。分布は宮城・富山県以南から屋久島まで。

⑪ ツクバネガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus sessilifolia*



×1.0



×0.10

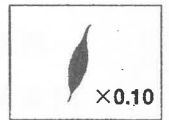
常緑樹。葉は長さ5～12センチで、葉の先だけに浅い鋸歯があります。また、葉は枝先に集まってつく傾向があります。葉の下面は淡緑色で、葉柄は長さ0.5～1センチ。分布は宮城・富山県以南。

⑫ ウラジロガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus salicina*



×1.0

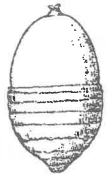


×0.10

常緑樹。小枝は灰白色。葉の下面は無毛で、名前の通り目立って白色です。中央の葉脈の上面はへこんでいます。分布は宮城・新潟県以南。

⑬ シラカシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus myrsinaefolia*



×1.0



×0.10

常緑樹。樹皮はなめらか。小枝は黒色。葉の下面はほとんど無毛で灰緑色です。生け垣や防風樹とされることがあります。分布は福島県以南から屋久島まで。

⑭ アラカシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus glauca*



×1.0



×0.10

常緑樹。樹皮はなめらか。葉は長さ5～10センチで上半分に大きな鋸歯があります。葉の上面はやや光沢があり、下面は灰白色で毛があります。公園や庭木などによく使われます。分布は宮城・山形県以南。

⑮ イチイガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus gilva*



×1.0

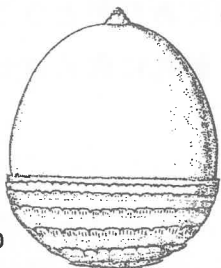


×0.10

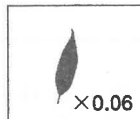
常緑樹。樹皮はなめらかですが、大きくなると不規則にはがれます。葉は長さ4～12センチで、葉の上半分に鋸歯があります。葉の下面には黄土色の毛が密生します。分布は関東南部以南。

⑯ オキナワウラジロガシ

ブナ科 コナラ属 *Quercus miyagii*



×1.0

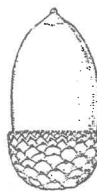


×0.06

常緑樹。葉は先の方に低い鋸歯がまばらにあり、下面は白色または淡緑色です。他の種とくらべて、果実が非常に大きいのが特長です。分布は奄美大島から西表島まで。

⑰ マテバシイ

ブナ科 マテバシイ属 *Lithocarpus edulis*



×1.0



×0.06

常緑樹。樹皮はなめらか。葉は全縁で葉の下面は薄茶色です。果実は大きくアクも少ないのですが、スタジイやコジイとくらべて美味しくありません。分布は関東南部以南。

⑱ シリブカガシ

ブナ科 マテバシイ属 *Lithocarpus glabra*



×1.0



×0.10

常緑樹。樹皮はなめらか。葉は先の方に浅い鋸歯があり、葉の下面は銀白色です。材は堅く、中国では農具に使われます。分布は近畿地方以南。

主催・ジャスコ(株)南千里店

開催に協力した当会に礼状

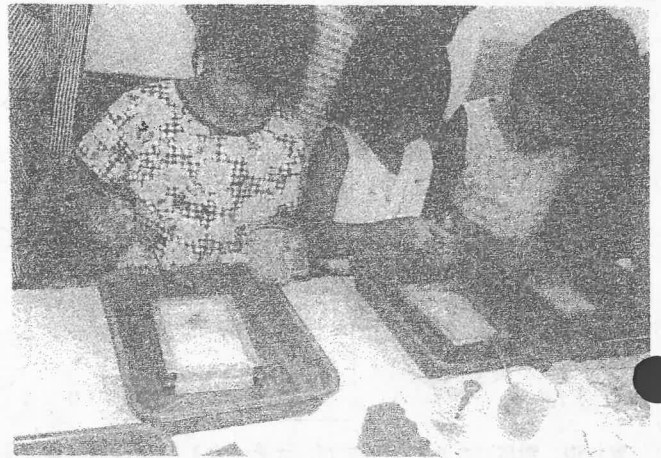
ジャスコ(株)近畿カンパニー、環境社会貢献担当の山出光又さんからつぎの礼状がすいた市民環境会議に届きました。

8月29日(火)すいた市民環境会議の協力を得て、ジャスコ南千里店にて「第1回親子紙漉き教室」を開催致しました。この紙漉き教室は、すいた市民環境会議が企業とのパートナーシップ活動の一環として開催致しました。

紙漉き教室は午前の部と午後の部の1日2回実施され、合計26名の参加がありました。

最初に紙漉き教室に当たり、すいた市民環境会議の菅原講師より「牛乳パックリサイクルの大切さ」についての説明の後、講師の方々の説明に従って、参加者それぞれが紙漉きを実際に体験して行きました。

最初のうちは、慣れない手つきで紙漉きを行っていた親子参加者も1枚はがきが



出来あがるごとに歓声上がるなど、リラックスしたムードで2枚目、3枚目と独自のはがきを作っていました。

紙漉き教室の終了後、参加者より「今度はいつ開催されるのですか」「こんなにきめの細かい紙漉きを体験したのは初めて」「親子でこんなに真剣でかつ楽しい思いをしたのは久しぶり」と評判も上々でした。

その上、南千里店の店長、副店長も「このような催しをまた春休みに行ないたい」という積極的な発言をするなど、今回の企画がジャスコにとっても何か良い刺激を頂いたのでないかと感じております。今回の紙漉き教室開催に対し、すいた市民環境会議とリサイクルプラザの方々には多大なご尽力を賜り誠にありがとうございました。書中をもって御礼に代えさせていただきます。



力作を見ながら感想の一言は
「このはがきは、世界で1枚よ」
「このはがきは私が作りました」

短信

まちなみ委員会が市内の観光マップを作成中。タイトルは『あलック吹田』。来年3月か4月に配布開始の予定。

生活環境委員会が「吹田市のごみ減量基本計画」を提案

生活環境委員会では、9月28日、吹田市に廃棄物処理についての「吹田市のごみ減量基本計画」提案を行いました。これは、市が策定しようとしている「廃棄物減量基本計画」に市民の意見を反

映させたいと、「吹田環境教育フェア2000」（前号で一部を報告）でのごみ減量ワークショップをふまえ、委員会の討論を経てまとめたものです。紙面の関係で提案のポイントを報告します。

(報告・喜田久美子)

基本理念

- ・ 市民参加による廃棄物処理施策をつくる。
- ・ 循環型社会「ごみゼロ都市吹田」をめざす。（「循環リサイクル都市吹田」という抽象的なスローガンでなく、市民としての決意の意思表示です。）

基本方針

- ・ ごみをつくらない施策をすすめる。

事業者は拡大生産者責任(意味は脚注)やライフサイクルアセスメント(意味は脚注)の考え方を取り入れた廃棄物の減量化が必要です。市民はライフスタイルの変革を迫られることになります。市はそれを促し、支援する施策を推進すべきです。市独自でできないことは、全国レベルのネットワークを立ちあげて、国へ提言していくことも必要となります。

基本目標

- ・ ごみを四半世紀で50%減量する。

「まずごみの量を半分に！」という誰もが分かりやすい、けれど高い目標を設定しました。1998年の吹田市のごみ総排出量は約14万t。これを2025年には約7万tにしようというものです。

短期的には吹田市独自でできることをクリアし、中長期的には全国レベルの法規制整備、施行と並行して目標をクリアしていこうというものです。

年々の目標達成度やシステムは市・事業者・市民でつくる「ごみ処理評価委員会(仮称)」で評価され、公表されます。

- ・ 具体的な取り組みを策定するために市民参画の「吹田ごみ会議(仮称)」の設置を提唱する。

市民、事業者、行政、研究機

関など、みんなでごみ減量を考え実現するための会議です。

[用語説明]

* 拡大生産者責任 = 生産者の生産物によって発生した廃棄物に対して負う責任を指す用語。OECDのプロジェクトで使用されている。

* ライフサイクルアセスメント = 製品にかかわる資源採取から製造、使用、廃棄、輸送などすべての段階を通じて、投入資源や排出環境負荷、またそれらによる地球や生態系への環境影響を定量的、客観的に評価する手法。ISO14040に原則と枠組みが記載されている。

* 生活環境委員会にご参加ください。

問い合わせ 喜田久美子

TEL06-6330-0305(夜のみ)

提案全文は当会のホームページに掲載しています。

短信

平成11年に国の「地球温暖化対策推進法」が施行されている。そこでは「地方公共団体は実行計画を策定し、実施状況を公表しなければならない」とあり、範囲は「庁舎のみならず公立学校、公立病院もふくまれる」とある。吹田市にはまだ着手した様子がないので、生活環境委員会は9月25日付で吹田市に質問状を提出した。質問要旨は、①策定・公表の時期、②小中学校と市民病院も対象になるかどうか。

「みんなで大木に名札を取り付けよう」

◎ 一緒に取り付けて下さるボランティアを募集します

・日時 12月10日(日) am10:00~12:00頃

・集合場所 江坂駅大阪寄り改札口

・申込 すいた市民環境会議/秋山 Fax 06-6877-0879

住所・氏名・年齢・電話番号を記入してFaxをお願いします。

保険手続きのため必ず申込(締め切り12月5日)をお願いします。

すいた市民環境会議では、3年前に吹田の古木・大木調査を実施、幹周り200cm以上の木を420本記録しました。その後、吹田市では保護樹木指定制度を発足させ樹木保存(樹木44本、樹林3カ所)をして下さっていますが、道路わきの木、駐車場内の木など、いつ伐採されてもおかしくない場所の木について、名札を付けることになりました。住民の皆様が、木の名前を知ることで『愛着の持てる木』に成長していくことを願っての作業です。12月10日“名札取り付け作業”を行います。是非、参加をお願いいたします。

『気になる木』情報コーナー

投稿 みどりを大切にしているA企業の敷地内のニセアカシアの木が大きな枝を残すだけで、剪定されてしまいました。企業の話では「隣接する施設から落ち葉の苦情があり剪定せざるえなかった」

? 隣接する施設は市の施設なのに…………なぜ～

情報を発信して下さる時は

- ① 木の状況と所在地(住所・簡単な地図などを添付して下さいと嬉しいです)
- ② 情報発信者のお名前・住所・電話番号・FAX など

あて先 すいた市民環境会議・事務局 小田忠文方/大木委員会 宛
564-0032 吹田市内本町2丁目18-8 TEL&FAX 06-6319-0630

【 猛暑本番。ビルが林立する大阪の都心は一段と暑さがこたえる……というのが実感だが、実は周辺部に比べると、地表温度は最高で10度近くも低いとの解析結果が出た。】これは、8月4日付けの新聞記事である。大阪大学の研究グループは、「真夏の大阪のビル街は、都心を流れる川や堀、それに公園、御堂筋の街路樹などが一役買っているらしい。……これからの快適な都市空間づくりにとって、水と緑はますます重要視されるだろう」とのコメントを載せている。

ヤッタ！（これは私の実感）“樹・樹・樹”と樹の事ばかり云ってきた私にとっては、裏づけが得られたようで、この研究が進み、植樹行政、樹木を楽しむ市民生活が始まることを期待したい。

前回に続き今回は“都市林”（こういう言葉があるかは？だが）について

特に都市においての樹木は、**気象緩和**（夏場の木陰の涼しさなど）・**大気の浄化**（街路脇の葉がタール状のもので黒く汚れているのを見かけたことがないだろうか、街路樹は車や工場からでる煤塵などを吸着、ろ過する効果を担っている）・**防音防火作用**などを行っている、と誰もが経験上知っているが、実際身の回りは“樹を伐る”環境ばかりである。

樹木を育てるには50年100年とかかるにもかかわらず、簡単に伐ってしまう、そして新たに植えている。樹木の伐採を最小限にとどめ、上手に使う生活環境が成り立たないものだろうか。

ここ何年かの旅行で感じていることは、アメリカ、ドイツはそれぞれが都市の中に**森のような公園**を持っている。そこが市民の憩い・コミュニケーションの場になっているのを見かけた。

わが吹田市にも、市の中心地に“吹田操車場跡地”という空間がある。トラックターミナルの移転地であることもよく理解している。しかし、その排気ガスなどによる公害が発生しないか、という危惧ももっている。今、市民は健康第一で、少々不便でも今以上の利便性は望んでいない。

このトラックターミナル建設と同時に、吹田市に残る空間を、市民1人1人が植樹による『森づくり』の場には考えられないだろうか。

箕面・高槻・茨木のように山を持たない吹田市に、人の手による100年後に残す『森づくり』に着手したい。こう考えるのは私だけだろうか・・・。

次回は樹木の恵みについて





《 吹田市の鳥 NO.16 》

バン(鵪)

クイナ科

平(ヒラ) 軍二・山田西

吹田市内にヒメボタルが生息することがわかって一躍有名になった千里緑地、その中心にある高町池で池の回りをぐるりと取り囲んだ釣り人を恐れもせず、首をふりふり泳いでいる黒色の鳥、それが今回紹介するバンである。

バンは体長32cm、ハトとほぼ同じ大きさの鳥である。遠目には黒一色に見えるが、嘴は赤と黄色、脇と下尾筒は白色にお化粧していて、更に緑色の足とその付け根の赤色を見せられると、地味に見える鳥の「ひそやかなお洒落ぶり」に感心させられる。

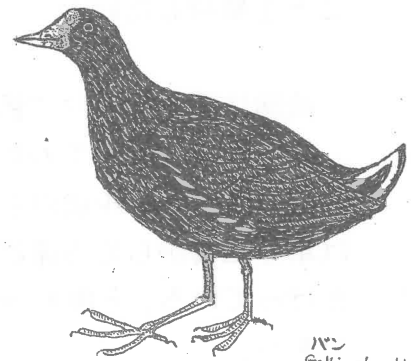
同じような環境に住むカモの仲間と違い、バンは足指の間に水掻きが無いことから、池を泳ぐときの動きがカモのようにスムーズでなく、体全体を機関車の如く動かしながら泳いでいる。

バンは全世界の温帯から熱帯に広く分布している鳥で、日本では北国のものは南国に移動するが、大阪近郊では留鳥として一年中観察できる。

バンの名前は水田で良く繁殖(子育て)していることから「田の番をする鳥」という意味でつけられたようである。水田が少なくなった吹田でバンが住めるのはため池であるが、周囲に釣り人が多いこともあって、バンが繁殖できるため池は思いのほか少ない。ため池のアシ・ガマなどの中や、水辺の草はらで枯れ草を積み上げて巣を作るが、高町池では毎年6~7月に可愛らしいバンの子供たちに会うことができる。

さて、このバンの仲間に誰でも名前を知っている鳥のヤンバルクイナがいるが、沖縄の山に隠れ住んでいるうちに飛ぶことを忘れた鳥である。バンも遠くへ渡りをするにもかかわらず通常あまり飛ばない鳥で、池の中での移動は泳ぐのみ、近づいてきた人に驚いて逃げるときに、水面上をばたばたしながら池の向こう岸に飛んでいく。

バンの外敵は人のみでなくバンの住んでいる水辺が好きなヘビ、万博公園でバンの巣に入るシマヘビを見たことがある。田んぼや池など住む環境が少なくなり鳥以上に数が激減していると思われるヘビが、まだ生き永らえていたことを喜び、バードウォッチャーでありながらあまり好きでもないヘビを応援し密かに微笑んでいることがある。



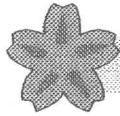
バン
Gallinula chloropus
96.7.20 911

岡村昇二（高野台）

（ まちなみ委員会委員 ）

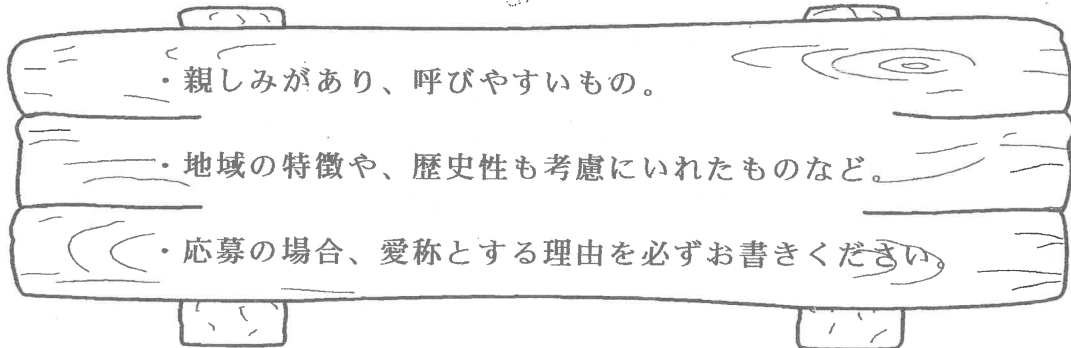
（ 吹田市道路愛称づくり市民委員 ）

吹田市の道路愛称募集中



あなたの好きな道の名づけ親になって下さい

名前を付けてくれた方のお名前は、当の道路の標識に刻まれます。



対象となる道路は24路線

<『市報すいた』10月15日号に地図と路線が掲載されています>

<地図と路線は、各公民館等にも配置しています>

1. 応募方法

応募数に制限はありませんが、同一内容で複数の応募は認められません)

[郵便の場合] 郵便番号564-0041 市役所内吹田市道路愛称づくり市民会議

『市報すいた』10月15日号に応募はがき（郵便料金市負担）が綴じ込まれています。

[ファクシミリの場合] FAX番号 6831-9674

2. 応募に必要な項目

- | | |
|-----------|---------------------|
| ① あなたのお名前 | ② ご住所 |
| ③ 電話番号 | ④ 道路の番号（地図をご参照ください） |
| ⑤ 愛称 | ⑥ 愛称とする理由 |

3. 締め切り 平成12年11月30日（木） 消印有効

4. その他詳細 『市報すいた』10月15日号をご覧ください

問い合わせ先：吹田市道路建設課内 吹田市道路愛称づくり市民会議

電話 6831-9697

すいた市民環境会議まちなみ委員会は道路愛称づくりを応援しています。

生物でにぎわった紫金山メダカの田んぼ

田んぼの生き物をまもるということは

紫金山メダカの田んぼの活動から思うこと

西野敦(佐井寺南が丘)

ビオトープとしての紫金山メダカの田んぼで米作りをして良かったと思います。いろいろ稲作への取り組みに対しての意見がありました。土地を借りた条件であったとはいえ、稲作をすることで田んぼの生き物のにぎわいを取り戻すことができたと思います。冬の田んぼにはカルガモが訪れ、春には豊年エビや貝エビが発生し、夏には水田雑草のオモダカやコナギが繁茂するなかで、トノサマガエルが顔を出し、時にはシマヘビやアオダイショウも現れる。秋にはおコメ目当てにカメムシや、スズメがやって来ました。

このようなありふれた「田んぼ」は、実は吹田において「絶滅危惧」なのです。しかし、実際に私たちが「田んぼ」を本気で守ろうと考えたときに何ができるでしょうか。

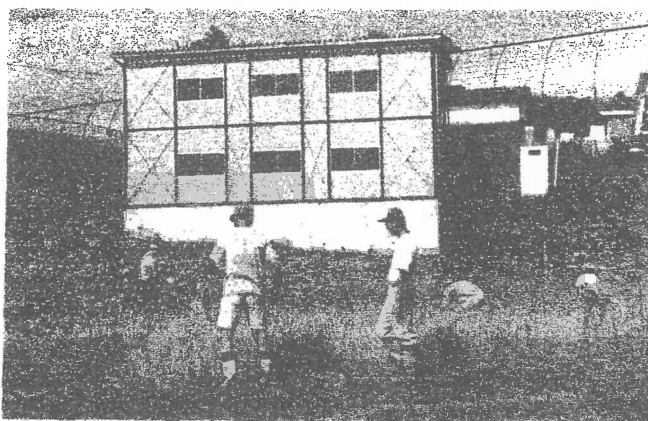
地主さんに田んぼを続けてとお願いする。市に買い上げるよう要求する。もちろんそういうことも大事なのですが、果たしてそれだけで「田んぼ」は維持できるで

しょうか。

農業をする人はどこでも高齢になっています。仮に開発の圧力がなくても、「田んぼ」は保全されないでしょう。私たちは田んぼを維持(稲作)するのがいかに大変か、身をもって学習しました。一方で、田んぼを維持していくことが田んぼの生き物を守ることも理解できました。

メダカは、トノサマガエルは、シマヘビは、アカトンボは、スイタクワイは、コナギは、みな田んぼにいました。吹田市内から田んぼが減っていくことは、即ちこれらの生き物が消えていくことと同義です。私たち自然愛好家は、吹田の自然を守るために具体的な行動が求められています。

今年の紫金山メダカの田んぼの取り組みでは、農法がわからず、初めての米作りに迷うことばかりでした。しかし、田んぼの生き物と共存できるような持続可能な農業をめざして試行錯誤していけばいいのでしょうか。



スズメが嫌がるようにテープを張った(9月10日)



稲穂に花が咲いた(8月27日)

受験体験記

橋本英樹(円山町)

9月24日(日)、ビオトープ管理士試験を受験しました。

ビオトープ管理士試験は、財団法人日本生態系協会が主催している民間資格のひとつです。ビオトープに関する各種事業(都市計画、造園、土木)に携わる人たちの環境保護や生態系に対する知識や評価能力を問うものであって、生物学や造園・土木技術の専門知識をテストするものではありません。したがって、私のような、素人というか、自然観察活動や各種ビオトープ活動(里山活動、水辺ビオトープ作り、田んぼ活動など)を楽しみや趣味としている者であっても、日々の活動の視点を広げるきっかけ作りになり、また試験勉強も興味を持って取り組めるものでした。

資格には1級と2級があり、さらにそれぞれが計画部門と施工部門に分かれています。私は、当然のことながら2級を選択し、そしてとっつきやすく現在の活動(紫金山メダカの田んぼ、ビオトープ山の谷)に直接関係ありそうな施工部門を選択しました。

試験は9月24日(日)に行われましたが、願書配布は6月中旬から、願書受付期間は6月20日～8月22日でした。なお、試験のための講習会があったようで、実施日は6月の第1土曜日、日曜日でしたので、その募集は4月くらいからであったと思われます。

試験科目は、共通科目が「生態系保護論」「生態学」「ビオトープ論」「環境関連法」の4科目(各科目択一式は各5問ずつ計20問、400文字の記述式は各科目1問ずつ計4問)です。また、専門科目は、施工部門が「造園・土木」、計画部門が「土地利用計画(都市・農村)」で、各部門とも25問の択一式(記述式はなし)でした。

参考図書が紹介されているので、各科目ごとに1～2冊なじみやすいテキストを選択し、またセミナー資料や日本生態系協会の会報を取り寄せて、片手間ペースで勉強しました。さて結果は、12月下旬に出ます。

ここで、今年の記述式の出題例をひとつ。

「開発時に希少な生物が発見されると生き物と人間のどちらが大切か、という議論が起こります。あなたの意見をのべよ。」

どうです?みなさんなら、簡単に答えられますよね。

興味ある方は、(財)日本生態系協会(TEL03-5954-7106)にお問い合わせになるか、または下記のホームページをご覧ください。

(財)日本生態系協会「ビオトープ管理士資格制度」のホームページ

<http://www07.u-page.so-net.ne.jp/mu2/>

ecojapan/homepage/biotop_manager.htm

<http://homepage2.nifty.com/nakaba/btm/>

短信

『沈黙の春』を著わしたレイチェル・カーソンの

映画「センス・オブ・ワンダー」の上映を実行委員会形式でおこなう。

2001年9月21日(金) メイシアター

生き物調査中間報告

平(七) 軍二・山田西

生き物調査委員会では吹田市の委託を受け、市内四公園の生き物調査を実施中である。調査結果は来年3月迄に集約する計画であるが、今までの調査の途中経過を簡単に報告する。

- ・調査公園 北千里公園（藤白台）、紫金山公園（岸部）
片山公園（出口町）、中の島公園（中の島町）
- ・生き物 野鳥、昆虫（チョウ・トンボ・セミ・バッタが中心）
植物（樹木・草本、雑草・植栽を含む）
- ・調査期間 00年4月～01年3月

1. 調査時期

野鳥・昆虫など生き物は四季折々に変化するため、季節毎に調査することとし、既に春・夏を終え、秋の調査を実施中である。

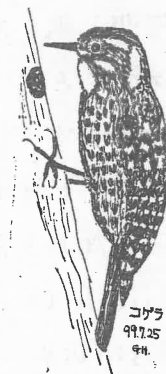
・季節毎の調査の主眼

	野鳥	昆虫	植物
春	春の渡りの鳥	チョウ・トンボ	春の草花・樹木
夏	子育て中の鳥	セミ・チョウ・トンボ	
秋	秋の渡り鳥	バッタ・チョウ・トンボ	秋の草花
冬	越冬中の鳥		

2. 野鳥の調査状況

春 クロツグミなどヒタキの仲間4種の渡り鳥を確認した公園もあるが、総じて渡りの小鳥は少なかった。

夏 セキレイの仲間などの鳥が子育て中の公園があったものの、繁殖種数は思いのほか少なかった。



3. 昆虫の調査状況

春 アゲハチョウ科・シロチョウ科・タテハチョウ科・シジミチョウ科の仲間や、イトトンボ科・トンボ科の仲間を観察できた。紫金山公園・北千里公園では池の水性昆虫を調査したが、あまり棲息していなかった。

夏 クマゼミ・アブラゼミなどセミ科の仲間の他、早くも秋の虫、コオロギ科・バッタ科の仲間を観察でき、またチョウ・トンボの仲間も割合多かった。

4. 植物の調査状況

樹木・草本(草類) どの公園も草本類が単純である。樹木は種類の多い公園もあるが、本数は多いが種類の少ない公園がある。

(2000.10.1)

短信

ビオトープ委員会の委員長が西野敦さんから、橋本英樹さんに代わりました。

垂水神社の木々

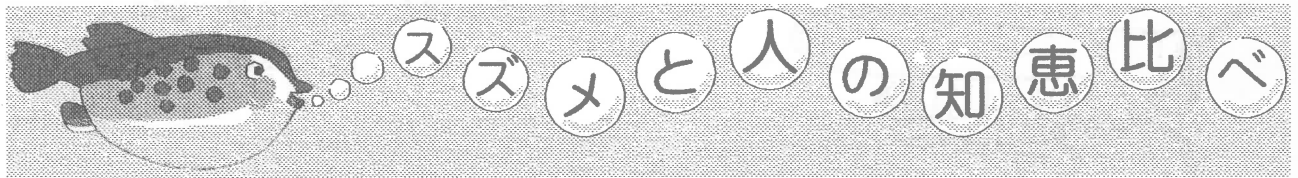
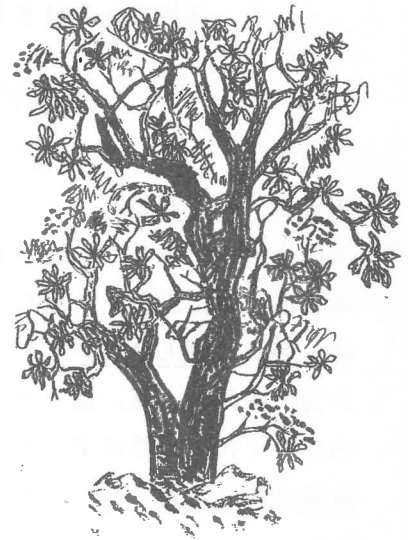


常緑の高木で本州中部以西の海岸に近い温暖な山地に自生する。高さ14mにもなり、雌雄異株で果実は直径1~2cmの球状で紅茶色に熟し、生食のほかジャム、果実酒などに、樹皮は漁網などの染色に使われるほか薬効もある。

垂水神社は平安期の延喜式内社で裏山には弥生集落跡と吹田三名水の一つと言われる不動の滝（現在の水量は微量）、滝にまつわる阿利真公の歌碑などがある。

樹高 14m 幹回り 2.72m

株立 2本 浅田都司男（千里丘中）



メダカの田んぼの情景

われわれが戯れる田んぼの横でK嬢が稲作と畑作をしている。毎日のように農作業を楽しむK嬢はわれわれのコーチであり、また田んぼのようすを逐一知らせてくれる。

われわれは稲木に刈り取った稲束をかけて、スズメに食べられないように蚊帳のような防虫網で覆った。「下から入るような知恵はスズメにないから、これで大丈夫だ」と。

しかし、すぐスズメの食事になってしまった。

一羽の見張り役のスズメ（教師？）が安全を確認して（1）まず、稲木の上にとまって、ようすを見る。

（2）防虫網の下から潜りこみ稲穂を食べ始める。

（3）それがサインとなって、近くにいた大勢のスズメの生徒が一斉に防虫網の中へ。

それからは、干してある稲が勝手にモゾモゾ踊っているように、防虫網の下の稲が揺れ動いている。中ではスズメの生徒が食べ放題。

食べるものがなくなったスズメたちは防御が強固なK嬢の稲木を攻撃しはじめた。

今年、全国的に異常発生したカメムシに穂が食い荒らされ、つぎはスズメ。冬の夜なべは藁細工ですな。

米よりワラの方が貴重だとの声もある。



年会費の納入を済ませましたか

郵便振込先は表紙の題字下に掲載しています

2000年度 会費納入者

7月18日～10月15日 (敬称略)

新会員 (個人会員)

上田修大 大塚光二 渋谷典子 高垣香織 仲直樹
新垣浩 横山正和 石原真弓 佐江木了治

継続会員 (個人会員)

長谷川美津代 高山宣 速水祐子 河面亮 長崎尚子 北村英一 梶川文代 木村雅英 辻千代子
古屋美千代 藤原博史 石原みずき 洲崎美紀 阪口善雄 磯江幸彦 寺西由美子

継続会員 (法人会員) と新会員 (法人会員)

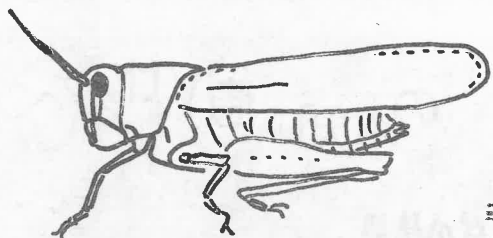
なし

564-0001
吹田市××町〇〇-△△
〇〇〇子様
00

封筒の宛先のここに有効年度が記載されています。

00 は2000年度まで有効です。

年会費が未納になっている方は至急お振込みください。



10月15日現在 個人会員 255人
法人会員 10社

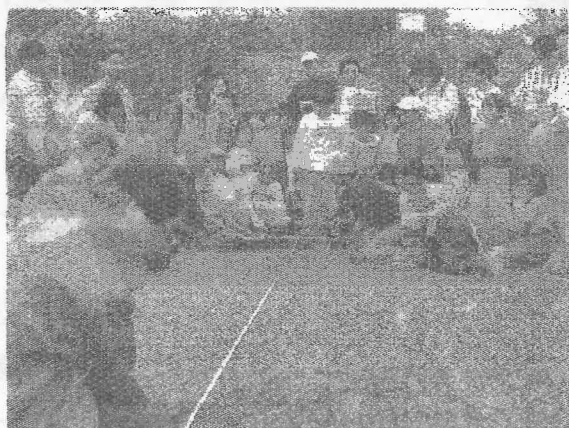


投稿、投書、会報誌への感想をお寄せください

10月15日(日)千里北公園で
バッタの運動会がおこなわれました。

← バッタの説明を聞きました。

← バッタの幅飛び競技で、空高く50mも飛んで測定不能が続出しました。



編集後記

すいた市民環境会議もいよいよNPOを目指し総会を開くことになりました。今回の会報誌は第18号とNPO法人化への資料を一冊にまとめ 臨時号第19号にしました。是非、目を通してください。秋も深まりそろそろカニを食べに日本海へ……などの話題が聞かれるようになりました。

秋の七草藤袴に感激している秋山でした